FREE
ご自由に お持ちください。

No.805
2020 October
10

岐阜県の森林・林業

森林（もり）のたより

News of the forest

白山白川郷ホワイトロードの紅葉

●詳細は7ページをご覧下さい

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会
E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp
http://www.g-forestry.or.jp （公社）岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

森林・林業関係イベントカレンダー（10~11月）

一般向け

開催日	行事名等	内　容　等 （概要、定員、受講料、申込期限など）	場　所 申込（問合せ）先／TEL
9月1日㈫~ 10月31日㈯	**緑の募金（秋期）**	「緑の募金で進めようＳＤＧｓ」をスローガンに秋の緑の募金を行います。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL 058-273-7577 FAX 058-273-7547
11月7日㈯~ 11月8日㈰	**オープンキャンパス in翔楓祭（森林文化アカデミー学園祭）**	岐阜県立森林文化アカデミーは、林業、森林環境教育、木造建築、木工の分野で活躍できる人材を育成している専修学校です。入学を検討されている方を対象に、オープンキャンパスを開催します。 ●**時間**：10時から15時まで ●**内容**：学校紹介、教員との面談、入試過去問の配布等 ●**参加費**：無料	森林文化アカデミー （美濃市曽代８８） 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529 E-mail info@forest.ac.jp URL https://www.forest.ac.jp

目次 Contents

イベントカレンダー（一般向け）……2
100年先の森林づくりシリーズ16
～木育・森林環境教育の推進～……3
「ぎふ木育WEEK2020」を開催しました……3
山の歳時記(182) ムキタケ……4
morinosプログラム紹介!!……5
ぎふ木遊館　秋のイベント情報！……6
第9回緑豊かな清流の国ぎふづくり県民フォーラムを開催しました……6
森の楽園：生活環境保全林の紹介「日本ラインうぬまの森」……7
白山白川郷ホワイトロードの紅葉……7
シリーズ：『森林・環境税』で"緑豊かな清流の国ぎふづくり"(6)……8
治山・林道研究課題
林道白尾～鷲見線における法面保護工法の考察……9
山のおじゃまむし(351) －初めて見た卵、タニシ－……10
森林と人を活かす知恵(93) 森林と心の癒し……11
木の香るぎふの施設(91) 郡上八幡まちなみ交流館……12
研究コーナー 下刈りを省略した場合のヒノキの成長を考える……13
普及コーナー 東濃地域における普及活動について……14
スマート林業通信(4) ドローン操作研修会を開催……15
国有林の現場から(48) こんなところにも国有林……16
伐採作業をされるみなさまへ……17
林業者向けお知らせ……17
市況……18

表紙●白山白川郷ホワイトロードの紅葉の様子

100年先の森林づくりシリーズ16

第３期岐阜県森林づくり基本計画(H29～H33)では、望ましい森林の姿へ配置転換する「１００年先の森林づくり」、林業経営を重視した「生きた森林づくり」、環境保全を重視した「恵みの森林づくり」に取り組んでいます。これらの取組状況について、隔月連載でご紹介します。

◆恵みの森林づくり　人づくり及び仕組みづくりの推進

～木育・森林環境教育の推進～

岐阜県では、豊かな森林や木と共生する文化を次の世代につないでいくために策定した「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向け、森や木からの学び「ぎふ木育」の推進に取り組んでいます。

これまで、県内各地で行われる体験･学習活動への支援や、木育にかかる指導者の養成などに取り組むとともに、地域に開放された子育て支援施設に「ぎふ木育ひろば」の設置を進めてきました（県内101箇所）。

また、今年７月には、ぎふ木育の総合拠点として整備を進めた「ぎふ木遊館」（岐阜市学園町）、「森林総合教育センター（morinos（モリノス））」（美濃市 県立森林文化アカデミー内）がオープンし、幅広い世代の方に森林や木に親しみ、森林とのつながりを体験していただくことができます。

これら新たな２施設を両輪とし、県全体にくまなく「ぎふ木育」が定着するように取組みを一層進めてまいります。

●詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-1111（内線3031）恵みの森づくり推進課木育推進係まで

「ぎふ木育WEEK2020」を開催しました。

８月の「ぎふの山に親しむ月間」の行事として、県民一人ひとりが楽しみながら、ぎふの山や自然のことを考えていただく機会となるよう、令和２年８月２日（日）～10日（月･祝）の期間、アクティブG２階ふれあい広場において、ぎふの木のおもちゃや「ぎふ木育」にちなんだパネル展示等を行いました。

また、期間中は展示のほか、ぎふの木のおもちゃの販売･PR（場所：アクティブG２階　THE GIFTS SHOP）や、アクティブG及び岐阜シティ･タワー４３内の各飲食店において、山の恵みと川の恵みに関する食材を使った特別メニューを提供する「岐阜の山と川の恵みフェア」も開催されました。

今後も本県の豊かな自然を背景とした、森と木からの学び「ぎふ木育」を通じて、森林づくりや県産材利用に理解と関心を深めていただければと思います。

展示会場の様子

会場内の様子

岐阜県産材の紹介

ぎふ木遊館、morinosの紹介

ぎふの木のおもちゃの展示

主催：岐阜県／（公社）岐阜県山林協会／（公社）岐阜県緑化推進委員会／岐阜県森林組合連合会／岐阜県木材協同組合連合会

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111内線（3035）恵みの森づくり推進課木育推進係まで　木育のいっぽ　検索

山の歳時記 182

YAMA NO SAIJIKI

ムキタケ

文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

秋の森の恵み「木の子」。

今から40年ほど前、大学生の私が秋田営林局仁別営林署管内にある仁別森林博物館を訪れた時のこと。

林業機械の歴史を勉強する目的で訪れた博物館に、「秋田杉」の美林が隣接しているとお聞きし、営林署の方と一緒に歩いていました。私が見事な秋田杉に感動していると、突然営林署の方が「ヌキモタシとナメコだ。こりゃぃぃ」と言われ、作業上着を脱いで広げ、なぜかヌキモタシだけを採られました。このヌキモタシとはガマノホタケ科ムキタケ属のムキタケ（Sarcomyxa serotina）で、これが私にとっては初めてのムキタケ採取体験だったのです。また営林署の方は「ナメコよりもムキタケの方がおいしい」と喜んで持ち帰ったのです。

ブナやミズナラなどの枯木に発生する多くの木材腐朽菌の中でも、ムキタケはいろんな料理に合うため重宝されます。

ムキタケは漢字で「剥茸」と書かれ、信州ではカワムケ、群馬ではカタハ、カワムキ、福島ではノドヤケ、秋田ではヌキモタシの別名で呼ばれ、岐阜県の飛騨地方はムクダイ、ノドヤキとも呼ばれます。

その名の如く、傘表面の皮がツルツルと剥くことができ、キノコらしい香りと旨味、優しい口あたりであるため、どんな料理にも合います。特に鍋物やすき焼きにすると、つるりと飲み込んで喉が焼けるため「ノドヤキ」と呼ばれるのです。またアイヌ語でキノコは「カルシ」、ムキタケは「カプ　ケリ　カルシ」と呼ばれ、干したり塩漬けにしたりして保存食にもされました。

ムキタケは木材を白色に腐らせるガマノホタケ科の白色腐朽菌で、傘は初めのうちは半球形や饅頭形ですが後には開いて腎臓形や半円形となります。傘表面の色は淡い黄土色～黄褐色のものが多く、時には緑色や紫色を帯びることもあり、表面には細かい毛を密生させます。太短い柄は傘の横につき、傘の裏側のヒダは密で、色は淡黄色～淡褐色です。

ムキタケは食用のヒラタケや、有毒なツキヨタケに似ており、ブナやナラの朽ち木に一緒に生えることも度々です。ムキタケとヒラタケを採り違えても問題はありませんが、ツキヨタケをムキタケと間違えると大変です。

ムキタケならば幼菌でも成菌でも傘表面の皮が必ず剥けます。またツキヨタケならば柄を裂くと紫褐色のシミがありますが、まれにシミのないものもあるので注意が必要です。

食欲の秋、食い気が先行する私にとっては、身の危険も感じるキノコシーズン到来なのです。

▲一本の枯れ木に大発生しているムキタケ

やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介！！

令和2年7月22日に岐阜県立森林文化アカデミーにオープンした森林総合教育センター（愛称morinos）で実施しているプログラムについてご紹介します！今回は、8月1日に開催した子どもたちの遊び場（プレーパーク）です。

morinosでは、大人から子どもまで、すべての人と森をつなぐことを目的としています。つなぐ方法はいろいろありますが、まずは心の底から楽しむことが最も大切であると考えています。「プレーパーク」とは欧州発祥の自由なあそび場であり、通常の公園で見られるブランコ、シーソー、鉄棒などではなく、子どもたちが考えて、工夫して、遊びを作り出すことの出来る遊び場です。morinosで行うプレーパークは焚き火、工作、かけっこ、山遊び、水遊び、どろんこ遊び、穴掘り、名前のない遊び、そしてな～んにもしなくてもOKなのです。

コロナ前であれば、1日で200人以上集まるプレーパークですが、今回は美濃市公民館主催の『夏休み子ども研修』として、20名に限定して楽しんでもらいました。

施設の一つ、「雨水ポンプ」はいつも大人気です。子どもたちはポンプの取っ手を取り合いながら水で遊びます。この「雨水ポンプ」は建物の屋根に降る雨の一部を地下タンクにため込んで、それを汲み上げる仕組みになっています。空になったら次の雨が降るまで待ちます。楽しみながら水がどこから来るか、また、水は限りある資源であることを知ることができるしかけです。大人は押しつけがましくならないよう注意しなければなりません。

morinosひろばには、残土を使った大きなお山があります。子どもたちは、スコップやツルハシを持ち出して、そこかしこを掘りまくります。

この穴掘りも、子どもたちに大人気。自分も子どものころにはそうでしたが、子どもは、「ただ単に穴を掘る」ことこそが楽しいのです。子どもたちが体を使って全力で経験することこそが、自然と子どもたちをつなげていきます。

「山に行きたい」という子どもたちは、森（演習林）に向かいます。

森の中では、木登り、虫捕り、たき火など、さらに楽しみがたくさん。森の中の冒険でたくさんの「楽しい」に触れた子どもたちは、きっとまた森に戻ってきてくれます。

こうした体験のほとんどは、いつでも体験することができます。多くの皆様のお越しをお待ちしております。興味を持ってくださった方は、morinosのホームページ、動画YOU TUBEをご覧ください。

【森林文化アカデミー　森林総合教育センター（morinos）　鈴木知之】

ホームページ　https://morinos.net
YOU TUBE　検索「morinosチャンネル」
開所時間　10:00～16:00
定休日　毎週火･水曜日

ぎふ木遊館（もくゆうかん）

GIFU MOKUYUKAN

秋のイベント情報！

10月のぎふ木遊館は、イベントが目白押し！ぜひご来館ください。

木育プログラム

糸のこを使った木工プログラムや、秋ならではのドングリを使ったプログラムを予定！
10月10・11日のオータムフェスタでは、大人から子どもまで楽しめる、2日間限定の特別なプログラムを用意しています。

企　画　展

飛騨高山地域の森林と共生する文化に迫る企画展をギャラリーにて実施しています。
高山祭に欠かせない祭屋台（指南車）がぎふ木遊館に登場！

研　　修

ぎふ木遊館や木育イベントで活躍するボランティアスタッフ「ぎふ木育サポーター」を養成する講座を開催します（10月25日）。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、人数や時間の制限を設けています。
詳しくは、ぎふ木遊館公式ホームページをご覧ください。

お問合せは・・・
ぎふ木遊館企画運営係まで
TEL：058-215-1515
（水曜日を除く 10:00から17:00）
e-mail：c25111@pref.gifu.lg.jp

第9回 緑豊かな清流の国ぎふづくり県民フォーラムを開催しました

県では、豊かな自然環境の保全と再生に向けた取組みを県民全体で支えていくために、平成 24 年度から「清流の国ぎふ森林・環境税」（以下「県森林・環境税」という。）を導入し、様々な取組みを進めています。

本年８月６日（木）には、岐阜県図書館の多目的ホールにて、「県森林・環境税」を活用した取組みを県民の皆様にご紹介するため、「第９回緑豊かな清流の国ぎふづくり県民フォーラム」を開催しました。

今回は新型コロナウイルス感染防止対策のため、例年より時間を短縮し、席数を制限しての開催となりましたが、多くの皆様にご参加いただきました。

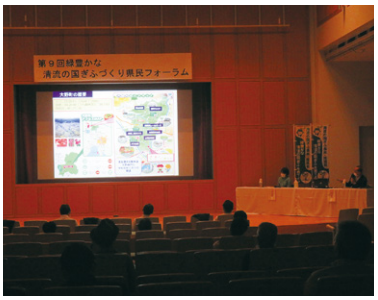
■事例発表

「人と森をつなぐ、ぎふ木育の取組み」

「子育てはうす　ぱすてる」を拠点に町全体で木育に取り組む大野町と、森林のない岐南町において、プレーパーク活動等を通して自然環境や山とのつながりに関する意識醸成に取り組む「ぎなんプレーパークの会」による、事例発表を行いました。

大野町からは民生部福祉課長の馬渕氏が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」をテーマとした「おおの木育フェア」や町内の保育教諭等のスキルアップのために実施している木育研修など様々な事業について紹介しました。

ぎなんプレーパークの会からは代表の森下氏が、活動写真を交えながら、遊びを通した学びの大切さや子どもの主体性を大切にしたプレーパーク活動等の取組みについて紹介しました。



事例発表の様子

■施設紹介

「ぎふ木遊館の魅力と今後の展望について」

「ぎふ木育」の考え方について説明するとともに、「県森林・環境税」を活用して設置された「ぎふ木遊館」の魅力等を木のおもちゃの音やにおい袋を使いながら紹介しました。

●詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-1111内線（3012）　恵みの森づくり推進課恵みの森づくり係まで

森の楽園

生活環境保全林の紹介「日本ラインうぬまの森」

岐阜県には、治山事業で整備した生活環境保全林が32箇所あります。生活環境保全林とは、市街地の周辺に位置する保安林のうち、山地災害の防止等と併せて自然環境の保全・形成を目的として整備された森林です。治山ダムや花木の植栽等が行われ、保健休養や自然観察の場として、多くの県民の方々に利用されています。

より快適に楽しんでいただくため、生活環境保全林を管理する市町村により、施設の増強や老朽化した箇所の改修などが取り組まれており、岐阜県では補助制度（集落環境保全整備事業）を設け、これを支援しています。

今回ご紹介する「日本ラインうぬまの森」は、各務原市の東部に位置しており、各務原市の中心市街地から20分ほどの距離にあります。飛騨木曽川国定公園と木曽川を含む66haの管理区域内には、散策道が整備されており、自然観察・森林浴・トレッキング等を楽しむことができます。また、展望台、展望デッキが設置されており、濃尾平野から木曽川、犬山城などを一望できます。

岐阜県では、今後もより多くの県民の皆様に安全にご利用いただくため、生活環境保全林の整備を応援してまいります。

【治山課　後藤】　●詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-1111 内線(3167)治山課まで

白山白川郷ホワイトロードの紅葉

白山白川郷ホワイトロードは、9月下旬より紅葉が始まっており、標高差が大きいため、11月上旬までの長い期間にわたって紅葉を楽しむことができます。展望台や車窓から眺める赤や黄色の紅葉は、針葉樹の緑に映えてとても鮮やかに彩られます。

また、今年は8月から5,000台に限り、一部利用料金の半額で利用が可能です。この機会に、ぜひ白山白川郷のホワイトロードの紅葉をお楽しみください。

紅葉・半額情報はホームページにて随時更新していますので、お出かけの際はご確認ください。

※令和2年度は、岐阜県側のみ（三方岩駐車場で折り返し）の利用になります。
（石川県へ通り抜けることはできません）

通行料金

	一部利用料金	半額料金
軽自動車	1,100円	550円
普通自動車	1,300円	650円
マイクロバス	4,000円	2,000円
大型バス	8,800円	4,400円

営業期間　11月10日（火）まで（予定）

利用時間　8時～17時（出口閉門時間 18時）
※ただし、9月26日から10月25日までは、
開門時間を1時間早める
「秋のモーニングタイム」実施します。

ホームページ　https://hs-whiteroad.jp/

お問い合わせ先

（公社）岐阜県森林公社 白山林道岐阜管理事務所
TEL/FAX　05769-6-1664

シリーズ

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

6

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取り組みを行っています。こうした取り組みの内容について連載で紹介します。

上流域と下流域の交流事業
～清流の国ぎふ　森・里・川・海×つながLINK親子体験ツアー～

岐阜県では、県内の主要な河川流域での自然体験・環境保全活動・環境学習を通して、森・里・川・海のつながりなど上下流域の相互の自然環境について親子で学ぶ『清流の国ぎふ　森・里・川・海×つながLINK親子体験ツアー』を実施しています。

【令和２年度ツアー（予定）】

	実施日	コース名	主な行先
夏	9/5（土）	生き物博士と探そう！「国の特別天然記念物オオサンショウウオ」	郡上市
	9/6（日）	川の生き物を見てみよう！ＭＹ箱めがねづくりとアユのつかみ取り体験	東白川村
秋	10/3（土）	里山（我田の森）に行ってみよう♪稲刈り体験とザリガニ釣り体験！	可児市
	10/4（日）	清流長良川あゆパークで鮎のつかみ取り体験と林業体験	郡上市
	10/10（土）	森の案内人と一緒に行こう！わくわく森林散策と木製スプーン作り	飛騨市
	10/11（日）	動物と私たちの関係について学ぼう♪漁師体験とワナ猟体験！	郡上市
	10/17（土）	達人と一緒に森の作業をしてみよう！木材搬出技術じゃんじゃん見学と間伐体験	中津川市
	11/3（火･祝）	２０２０年新オープン「ぎふ木遊館」と「morinos」で木と触れ合おう！	岐阜市、美濃市
冬	1/9（土）	飛騨の伝統文化を体験しよう！餅つき体験と郷土料理づくり	飛騨市
	1/17（日）	生き物博士から学ぶ！絶滅危惧種「ハリヨ」とアクア・トトぎふバックヤード見学	大垣市、各務原市
	1/30（土）	動物のあしあとを探そう！アニマルトラッキングとそり体験	郡上市

※コースは今後、変更または中止になる可能性があります。
※新型コロナウイルス感染予防対策を徹底したうえで催行しております。

プチシャワークライミング

間伐体験

ワナ講座

かんじき体験

ザリガニ釣り体験

清流ミナモ

流域の豊かな自然にふれながら、
親子で自然環境について学んでみませんか？

ツアー詳細・参加申し込みについては
つながLINK　日本旅行　検索

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線（2697） 環境企画課環境企画係まで

治山・林道研究課題

治山、林道の各研究会では、日頃の業務で直面する課題について、調査・研究を行っています。今年2月に行われた発表会で発表された研究課題を紹介します。

林道白尾～鷲見線における法面保護工法の考察

下呂農林事務所（前所属 郡上農林事務所） 林業課 神原 昭真

路線の概要

林道白尾～鷲見線は、郡上市白鳥町と同市高鷲町を結ぶ全体計画延長約十八kmの森林基幹道です。マグマが地表で急冷されてできた安山岩や火山灰からできた凝灰岩などの軟岩が多くみられ、開設時の法面保護工として、モルタル吹付工やコンクリート吹付工が施工されています。

法面保護工施工箇所の現状

今回、法面の崩壊が確認された16箇所において現地調査を行ったところ、モルタル及びコンクリート吹付工法面の崩壊が5箇所で確認され、これらの箇所では吹付内部の岩盤が土壌化し、中抜けを起こしていました。施工後の経過年数は、二十年程度でした。

一方で、開設時や法面改良により簡易法枠吹付工を施工した5箇所においては、施工後十年程度経過していますが、変状等は見られませんでした。

法面崩壊の原因

開設当時、強固な岩盤であったはずの吹付内部の地山が、土壌化し不安定になったことが崩壊の原因と考えられました。岩自体に亀裂が多いこと、また、標高千五百mに迫る、低温、積雪の厳しい地形条件であることから、吹付内部に入り込んだ水分が凍上を繰り返すことで、通常よりも短い期間で岩盤の風化が進み、表層の強度が低下したと考えられます。

一方で、簡易法枠吹付工施工箇所で崩壊が見られなかったのは、切土勾配が6分と緩やかなことや、アンカーによる支持力が、地山が土壌化した際の表層崩壊の発生を抑えていることが理由だと考えられます。また、6分勾配で吹付枠が表面に突出している簡易法枠吹付工では、法面に雪が着雪し覆われるため、断熱効果による凍上の抑制も期待できるのではないかと考えられます。

開設時の工法選定

法面の風化には、地質、水分条件、気温、方角など様々な条件が関係しています。亀裂の多い岩盤や、積雪地での工法選定は、施工時だけでなく、将来的に法面の安定が確保できるかを含めて、特に注意して工法を選定する必要があると感じました。工法選定時において簡易法枠吹付工は、モルタル吹付工などに比べコストがかさむことから除外されてしまうこともあります。しかし林道工事は開通までに数十年を要することもあり、それまでに補修が必要となるケースもあります。

開設時にかかる費用だけではなく、その後の補修など維持管理にかかる費用も考慮した工法選定が、最終的により経済的な林道整備を可能にすると考えられます。

まとめ・今後の課題

白尾～鷲見線では、モルタル、コンクリート吹付による法面保護工は、二十年程度の経過で法面の崩壊が発生していました。当路線のような、岩盤に亀裂が多い箇所、標高の高い箇所での施工においては、耐用年数も短くなることから、その後の補修の可能性も考えた工法検討が重要であると考えられました。

今後の課題は、将来的な経済比較をどう行っていくかだと考えます。モルタル吹付工法面の補修は、施工後十年程度で必要になるとされていますが、林道において日頃から変状を把握し、崩壊が発生する前に補修を行うような維持管理を行うことは、難しく、崩壊が確認されてから補修しているのが現状です。このような場合、補修にかかる費用も大きなものとなってしまいます。

この路線においても、現時点では簡易法枠吹付工の施工から十年程度しか経過していないため、今後の経過を観察し、初期費用の増加に対する、維持管理のコストを比較することが必要と考えられます。

▲ 法面崩落状況

▲ 簡易法枠吹付工

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0576-52-3111
下呂農林事務所まで

山のおじゃまむし

―初めて見た卵、タニシー【第351回】

自然学総合研究所　野平 照雄 ● *Teruo Nohira*

新型コロナは子供たちにも大きな影響を及ぼした。我が家では孫のNちゃん。今年から1年生になる女の子だ。正月にはランドセルを背負って「おじいちゃん、今年から1年生だよ」。この嬉しそうな顔。そのしぐさが今でも目に浮かぶ。それがコロナのために2か月間閉校。Nちゃんのがっかりした顔。見るたびに心が痛んだ。5月下旬、ようやく初登校。背中には大きなランドセル。それに水筒や上靴入れ袋を肩にかけている。この小さな体で学校まで行けるのかと心配になった。しかし、元気がいい。集合場所まで駆けて行った。その嬉しさが、胸に伝わってきた。1年生になれば子供会や町内の行事に優先して参加できる。これが1年生の特権だ。それがすべて中止。がっかりしただろうと、また心が痛んだ。行事がないのでNちゃんは兄弟で公園へ遊びに行く。すると、近くの人からは冷たい目で見られる。結局家の中。孫たちが哀れに思えてきた。そこで親は気分転換をはかるため、コロナに影響の少ない場所へ連れていくことにした。その都度、私や女房にも声をかけてくれた。こんな機会はあと数年だと思い、喜んで出掛けた。最初の場所は三重県の熊野古道。馬越峠から天狗倉山を登るコースだ。

×　×　×　×

孫たちが登山をするのは初めてである。このため、親は孫と家族全員の登山靴を買うことにした。しかし、私は購入しなかった。この程度の山ならば今の靴で十分だと思ったからである。馬越峠を目指して、石畳の道を歩き始めた。前日雨が降ったせいか道が滑る。孫たち、とくにNちゃんはうまく歩けるか心配になった。ところが心配無用。3人とも走るように登って行った。そのうちに、私と女房が遅れるようになった。滑って早く歩けないのである。馬越峠へ着いた。食事をして天狗倉山へ向かった。ここは道が狭くて急斜面の道。それでも孫たちは元気よく登って行った。頂上へようやく着いた。体はくたくた。展望台まで登る元気がなく、ただ登っただけだった。下り始めた。相変わらず孫たちは軽い足取り。私と女房は付いていけないので、先に行ってもらった。ところが足がだるいうえ、靴が滑るのである。しかも道端は低い草ばかりで、つかまるものがない。女房にも先に行ってもらった。しばらく気を付けて下りていたが、滑って転倒し腰を強打した。痛くて歩けなくなってしまった。這うようにして下りた。しかし、時間がかかるのでビニール袋を地面に敷き、その上に尻を乗せて、足でこいで下りた。無様な姿。情けなくなった。しばらくしたら年配のおばさんが下りてきた。服装からして山歩きのベテランみたいだ。ところが、これがお節介焼き。「その靴でここへ来たの。しかもストックも持っていない。無謀だわ。その方法で下りるしかないね」と皮肉交じりの言葉。1時間半以上遅れてようやく着いた。しかし、笑っているだけで、誰も遅れた事情を聞かなかった。あのおばちゃんが、私の情けない姿を話したのだろうと思った。ただ、女房が一言。「登山靴を買うから」

×　×　×　×

2週間後の6月21日。この日は次女家族も含め、岩倉市自然生態園へ出かけた。園内の池でザリガニ釣りをするのが目的だ。孫のちびちゃんたちは5人。競ってザリガニを釣り始めた。しかし、池の周りはすごい人。場所を確保するのが大変だった。ザリガニ釣りにもコツがあるようで、5年生のY君は次々につり上げていた。しかし、他のものはたまにしか釣れなかった。そのうちに釣る人が少なくなってきた。すると次々と釣れ始めた。1年生のNちゃんも「おじいちゃん、また釣れたよ」と見せに来た。あまりにも釣れるので飽きてしまい、池の周りで虫をさがし始めた。すると、3年生のYちゃんが「あれは何虫の卵」と水中から出ている植物の茎についているものを指さした。淡いピンク色の小さな卵の塊であった。他の孫も集まってきて探したところ、あちこちにたくさんあった。私は初めて目にするもので、何かの卵だろうくらいしかわからなかった。孫たちには「帰ったら調べるよ」と返事をした。ザリガニはたくさん釣れて大きなバケツ2個に一杯。このうち大きなもの5匹だけ持ち帰った。この日も孫たちは大喜びであった。

×　×　×　×

数日後、5年生のMちゃんから「おじいちゃん、あの卵わかった」と電話がかかってきた。「しまった」と思った。調べていなかったのである。すると「あれはタニシの卵だよ」と教えてくれた。Mちゃんは学校や図書館などで調べたらしい。この向学心。しかも5年生だ。私は恥ずかしくなった。ザリガニは2日後にすべて死亡した。これを猫の餌にしようと、庭に並べておいた。すると翌日には食べられていた。ところが1匹だけ大きな前足が残っていたのである。硬くて噛み切れなかったようだ。その前足はそのままにしておいた。すると3日後に食べられた。足のくずだけが残っていたのである。あの硬い足までが食べ物。自然界には無駄がないことは知っていたが、このことを改めて痛感した。コロナのお陰で孫たちと楽しいひと時を過ごすことができた。しかし、コロナは悪病。孫たちのためにも早くおさまってほしいと思った。

▲ピンク色のタニシの卵

森林と人を活かす知恵 93

森林と心の癒し

岐阜県立森林文化アカデミー　教授●柳沢　直

この原稿を執筆中の2020年8月は、新型コロナウイルスの感染拡大第2波が到来していると騒がれている最中ですが、それに先立つ自粛期間中に家を出られずストレスを溜めた人が多いと聞きます。ストレスの原因には大きく二つあると思います。一つ目は、人との交流です。何気ない他人との会話が我々の心の健康にも大きな意味を持っているのだと気づかされた方も多いのではないでしょうか。二つ目は、環境の問題です。人と会うかどうかと関係なく、人工的な環境に閉じ込められる閉塞感もストレスの大きな要因と言えるでしょう。家から一歩も出ずに無機的な環境でリモートの仕事をこなし続けていたら、ストレスが溜まるのも道理です。

都会のオフィスビルと自宅を往復する生活を送っているようなサラリーマンが仕事上のストレスを抱えた場合、様々な方法でストレスを軽減しようと試みると思います。趣味に興じるのも良いでしょうし、スポーツで汗を流すのもよいかもしれません(ただしお得意様との接待ゴルフはお勧めできませんが)。いずれの場合もストレスの原因となっている仕事上の問題が解決する訳では無いですが、意識を仕事から切り離すことによって一旦リセットし、ストレスが軽減できるのでしょう。一言で言えば仕事を忘れて気分転換ということなのですが、この切り替え、なかなか難しいものです。焦がしてしまった鍋のお焦げのように、仕事の失敗や不安は心の中から簡単には落とせないので、気分転換中にもふとした弾みで思い出してしまうことになりかねません。

新型コロナウイルス対策による自粛で自宅に巣ごもり状態になっている場合の問題は、ストレスを軽減しようにも、家庭が仕事場と化しているので、気分転換をする状況が生まれにくいことも一因だと思います。

こんなときに、気兼ねなく一人歩きできる自然環境が近くにあったら、状況は大きく変わるに違いありません。想像してみてください。鳥や虫の鳴き声を聞きながら涼しい木陰を散策しているところを。感染防止のため一人で歩いていたとしても、室内で一人孤独にバーチャルな自然の映像を見て過ごす時間とは雲泥の差です。

過度のストレスを緩和するための自然環境として様々なものが考えられますが、森林は多くの点で優れていると思います。まず気温や湿度が適度であること。いくら自然とはいえ砂漠のような厳しい空間ではかえってストレスが溜まるでしょう。適度に閉鎖空間であることも重要だと思います。鬱蒼とした森は逆効果かもしれませんが、適正に管理された明るい森は、樹冠から林床までの適度な空間が屋内にいるような安心感を与えてくれます。生き物が多いのも森林の特徴です。一人で歩いていても一人では無いと感じられるのは多くの生き物と出会うからかもしれません。このあたりの要素については、いくらか科学的な検証もされています。しかし個々の要素の検証よりも複合的な効果そのものに意義を見いだすべきなのかもしれません。

都市環境で暮らす多くの日本人にとって、森林は身近な自然環境ではなくなってしまいました。しかし一方で、身近でないからこそ普段の生活を忘れられる環境であるとも言えます。そんな森林は心のモヤモヤをリセットするにはもってこいなステージなのではないでしょうか。その理屈では、普段から森林で仕事をしている私は森の中では逆に仕事のことを考えてストレスが溜まってしまいそうですが、不思議とそうはなりません。やっぱり森は癒しの空間なのかもしれませんね。

木の香るぎふの施設 91

木造化

郡上八幡まちなみ交流館

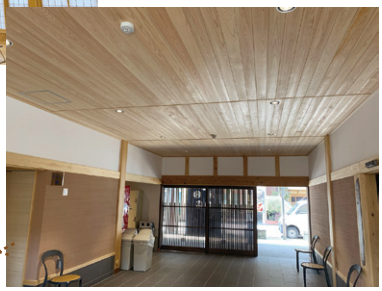
郡上市八幡町殿町63-1

施設全景

施設概要

事業年度	令和元年度
事業主体	郡上市
構造 延床面積	木造２階建て 397㎡
施設用途	文化施設
木材使用量 使用樹種	127㎥（県産材使用量121㎥） ヒノキ、スギ、マツ等
全体事業費	98,423千円（建築本体工事）
助 成 額	6,749千円（県産材需要拡大施設等整備事業）
設 計 者	（有）荒井建築設計事務所
施工業者	（株）髙垣組（建築本体工事）
工　　期	令和元年８月～令和２年３月

研修室



憩いの広場

施設の経緯

八幡町市街地の北町の一部は、平成24年度に、国から「重要伝統的建造物群保存地区」として選定されました。また、平成25年度には、この地区を核とする市街地全域を重点区域として、国から「歴史的風致維持向上計画」の認定を受けました。以降、建造物の修理、無電柱化などの町並み保存や景観の維持及び向上に関する事業を進めています。

この一環として、八幡町市街地の歴史や魅力を広く発信していくことを目的に、郡上八幡まちなみ交流館を建設しました。

県産材を多用し、伝統的工法を用いたことで、古い町並みの景観になじんだ建物に仕上がりました。

窓口・受付

展示室

ここに注目！！

瓦の屋根や、伝統的工法により作られた下見板張りの外壁、連格子の窓は、古い町並みの景観を引き立てる造りとなっています。また、吹き抜け天井となっている研修室は、ダイナミックな梁組を見ることができます。館内の至る所に木材をふんだんに使用しており、木の香り、ぬくもりを感じていただけます。

利用者の様子

落ち着きある空間で、ゆっくりしながら心地よくご利用いただけております。

■問い合わせ先
郡上市教育委員会　社会教育課
TEL 0575-67-1128

下刈りを省略した場合のヒノキの成長を考える

森林研究所●渡邉 仁志

木材生産を目的とする一斉人工林の造成にとって、下刈りは大変重要な作業である半面、経費負担や従事者の肉体的負担が大きい作業でもあります。確実な再造林のためには、下刈りを省力化しつつ、植栽木の成長や雑草木の性質に即した方法で実施する必要があります。それでは、下刈りを省略したとき、ヒノキの成長にはどんな影響があるでしょうか。

ここでは、その最も極端な事例として、一度も下刈りをしなかった場合の雑草木の状態やヒノキの成長経過について報告します。

雑草木からの被圧の状態

郡上市八幡町の再造林地に、根鉢容量三〇〇ccのヒノキ二年生コンテナ苗を植栽し、植栽後の下刈りを五年間省略した「省略区」と、年一回ずつ五年間行った「実施区」の状態を比較しました。

造林地の雑草木には低木性種（シロモジやキイチゴ類）が多く、高木性種（アカメガシワ、アオハダ）はわずかでした。また、ヒノキの梢端が雑草木に覆われた状態（上方被圧）は、両区とも早々に解消されました。しかし、雑草木の高さや量は、実施区では小さくなっていった一方、省略区ではどんどん大きくなり、同時に雑草木による横方向からの被覆（側方被圧）の程度は急速に高くなっていきました（図1）。

ヒノキの成長への影響

省略区では、雑草木の被圧によって枯れた植栽木はありませんでした。また、省略区の樹高は、実施区と同等以上であった（図2a）ため、たとえ下刈りを全くしなくても、ヒノキの伸長低下にはつながりにくいと考えられました。

これに対し、根元直径は植栽三年目以降に実施区の方が大きくなり、その差は年々拡がっていきました（図2b）。その結果、省略区の植栽木は間伐が遅れたときのように細くひょろひょろになってしまいました。省略区では、引き続き雑草木の高さや量が増加しているため、ヒノキと雑草木との横方向の競争が今後も続くと予想されます。このことから、下刈りの省略は、ヒノキの肥大成長に対して強い影響を及ぼすことが分かりました。

◆　◆　◆

このように、実際の事業地における下刈りの完全省略は現実的ではありません。したがって、雑草木との競争が本格的になる前に、現場にあった効率的な下刈りを計画する必要があります。その適切な頻度やスケジュールをご提示できるよう、植栽木に対する下刈り省略の影響を引き続き観察していきたいと思います。

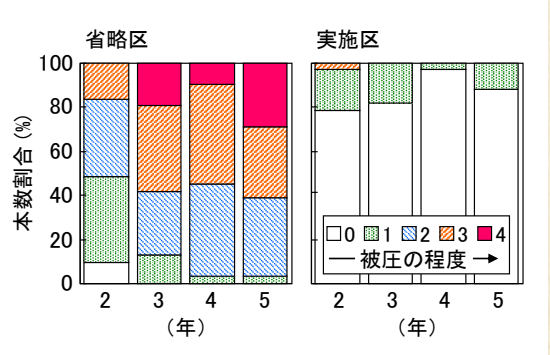


図1　植栽木の側方被圧方位数の推移

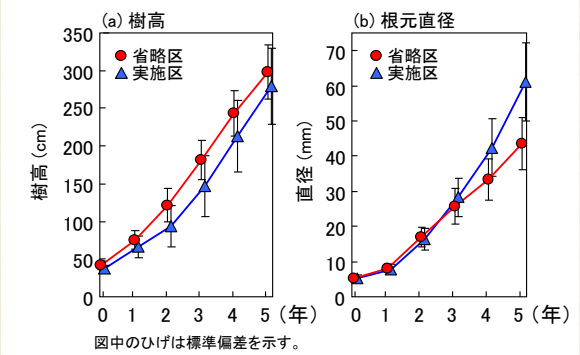


図2　植栽木の成長経過

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-33-2585
森林研究所まで

東濃地域における普及活動について

■東濃農林事務所林業課　林業普及指導員　大重 隆太郎

東濃地域の森林の状況

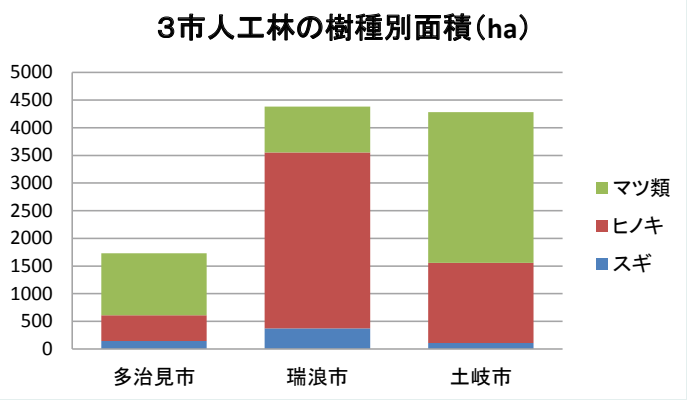
東濃農林事務所管内は多治見市、瑞浪市、土岐市の3市からなり森林面積は24,218haで森林率は63％になります。そのうち人工林率は44％と県内平均の45％と比べても遜色ない数字ですが、その中には、戦後のはげ山復旧事業等によるクロマツ、アカマツの人工林が多く含まれています。これらのマツ類の人工林も現実はマツ枯れや植生の遷移により広葉樹林化が進んでいると推測されます。

この傾向は、多治見市、土岐市で顕著で人工林に占めるマツ類の割合が60％を超えています。また、ヒノキ人工林の多くが、土岐市の南部や瑞浪市に偏って分布しています。

森林経営管理制度の取組

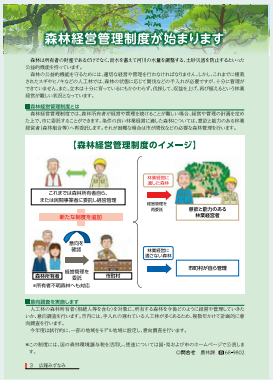
昨年度から森林環境譲与税の交付が始まり、市町村の役割はますます高まっています。一方、業務が増えても3市の林務担当職員は増員とはならず、厳しい実情があります。特に多治見市、土岐市では林務担当が1名かつ兼務です。人事異動も重なり、きめ細かい支援が必要です。年度当初は、制度の趣旨、誤った認識を正す必要もありました。また、この両市は未整備人工林と判定された森林のうち、マツ類の人工林が含まれるため、対象地の絞り込みも必要です。このことが、取組が遅れている要因の一つです。

これまで「森林経営管理制度」に関する新たな業務に対応するため、外部への業務委託を助言・支援してきましたので、3市の状況を報告します。



瑞浪市の取組

比較的ヒノキ人工林の多い瑞浪市では、昨年度に意向調査の準備を進め、今年度から外部に業務委託し、森林所有者の意向調査を実施します。手始めに地籍調査実施済みの40ha程度のモデル団地を設定しました。本委託業務の着手のタイミングで市広報により市民へ森林経営管理制度の周知を図っています。早速、5件ほど、森林所有者からの問い合わせがあったとのことです。今後、調査実施地区を対象に説明会の開催を予定しており、今年度中に、意向調査の実施から経営管理権集積計画を策定する予定なので、引き続き支援していきます。



▲広報みずなみ8月1日号

多治見市への支援

昨年度から間伐モデル林の整備

などに取り組んでおり、市民の憩いの場でもある生活環境保全林「潮見の森」内のヒノキを主体とした人工林の間伐を実施します。

近年、市有林の整備を発注した経験がなく、市の担当から設計ができないと相談を受け、エクセルの設計書様式を提供するとともに設計に必要な林分調査に同行、指導しています。

今回、間伐等の森林整備の発注業務のノウハウを蓄積し、今後実施することになる「森林経営管理事業」については、外部委託による意向調査や測量調査の実施を提案しています。

土岐市への支援

今年度の取組は、業務委託による意向調査の準備（基礎データ整備）、林道の改良・修繕に留まり、基金への積み立てが増える傾向にあります。マツ類の人工林が多く、対象地の見極めが必要なため、意向調査の着手が遅れていますが、来年度には外部委託し、意向調査に着手できるよう働きかけています。

今後の課題

森林経営管理制度の取組に関して、3市が外部委託による実施に舵を切りました。課題の情報共有化を促し、円滑に業務が進むよう支援して行きます。

また、今後、森林所有者への意向調査が実施され、森林経営管理事業や再委託による森林施業の担い手が必要となります。管内では陶都森林組合が唯一の「意欲と能力のある林業経営体」であり、その役割がますます重要になりますが、地道に施業プランナー業務や施工管理を充実させ、事業を確実に実施することを望みます。事業量の増加に対しては、民間事業体との連携を強化するといった対応が必要であると考えます。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0572-23-1111 内線(291)
東濃農林事務所まで

スマート林業通信 4

ドローン操作研修会を開催

7～8月に林政部で初めてドローン操作研修会を開催しました。

開催目的は、林業にもドローンを普及するため。林業関係者のドローンへの関心を高め、機器の導入や操作等に必要な知識及び技術を習得することを目的として、郡上市美並町にある株式会社ROBOZで開催しました。

研修内容は、まず室内講習でドローンの各部名称、飛行原理、ドローンに関する法令等を学び、学習内容を確認するテストも行われました。説明はわかりやすく動画を用いてドローンの様々な活用事例を紹介いただきました。ドローンが描く将来は我々が想像している以上に可能性を秘めており、林業の分野を超えて新しい発見があり面白い内容でした。

午後は操作実習で、ドローンの起動方法から離陸、飛行、着陸、GPSを接続したときと切ったときの操作方法の違い（ホバリングの有無）など、基本的な操作技術を学びました。

参加者からは内容が工夫されていてとても良い研修だった。プロから学ぶことができ、ドローンへの理解が深まったという感想が聞かれました。

アンケート結果から、今後はドローンで撮影した画像の処理（解析）研修、地上レーザ計測器OWLの操作研修を望む声が多く、森林文化アカデミーで必要な機器を導入して研修を企画していきます。

研修会の様子（操作実習）

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-35-2535
森林文化アカデミー
スマート林業推進係まで

国有林の現場から 48

こんなところにも国有林

国有林は奥山にあると思われがちですが、僅かですが都市近郊林もあります。

岐阜森林管理署管内においても、岐阜市を代表する山である金華山が国有林となっています。

▲新緑の金華山

この金華山(金華山国有林)は、かつては稲葉山と呼ばれ、戦国時代の武将「斎藤道三」の居城でした。

その後、斎藤龍興を攻めた織田信長が入城し、金華山の麓にある「井の口の里」を「岐阜」と改め天下布武の根拠地としました。

戦国時代の終わりを告げる関ヶ原の戦い以後、幕府直轄地、尾張藩領などの変遷を経ました。

明治になり「御料林(皇室所有の森林)」へ編入され、昭和22年林政統一により、現在の国有林となりました。

▲岐阜城天守閣の石垣

このような金華山ですが、平成23年2月には山頂の岐阜城、山麓の居館跡を含めた山全体が歴史上、学術上価値が高いと評価され国の史跡に指定されました。

また、土砂流出防備保安林の指定や動植物の宝庫であることから鳥獣保護区特別保護地区、自然観察に適しているためレクリエーションの森、自然観察教育林として、教育の場としても活用されています。

▲金華山アラカシ・ツブラジイ遺伝資源希少個体群保護林

金華山の南東側(達目洞)には、『金華山アラカシ・ツブラジイ遺伝資源希少個体群保護林』もあります。これは周辺の民有林がコナラやアベマキなどの落葉広葉樹林なのに対して、金華山は冬でも落葉せず青々としています。

その植生は、ツブラジイ、アラカシなどの常緑広葉樹で人間の手が入る前の原植生に近いと言われているからです。

これには諸説ありますが、戦国期には、敵が樹木に身を潜めながら攻め上ってくるのを防ぐため、山城の周囲の樹木はほとんど丸坊主に刈り取られていました。

ところが、関ヶ原の戦いの前哨戦で、西軍についた岐阜城主織田秀信(信長の嫡孫)が東軍に攻められ落城したのち、岐阜城は廃城となり、尾張藩の管理下で入山や伐採が禁止されていたようです。江戸時代に金華山を描いた絵では、アカマツやヤマザクラが見られますが、これは典型的な二次林で、地力が減退した林の特徴です。

明治に入ってからも、金華山は皇室の財産である御料林に引き継がれ、鵜飼い用のかがり火にマツ材が利用される程度の伐採で、おおむね伐採禁止が守られたことから、次第に常緑広葉樹が育っていったものと思われます。

一方、周辺の民有林では、比較的近年まで燃料用に樹木の伐採が繰り返されたため、二次生の落葉広葉樹林いわゆる雑木林のままで、金華山と大きく植生が違ってしまったのでしょう。金華山にはツブラジイ等のほかに天然ヒノキも多く生えています。中には樹高30mを超すような大木も見られますし、この辺りではツブラジイも大きく深山の趣があります。

戦国の世に思いをはせるのも良いですが、違った視点から金華山を楽しむこともお勧めします。

(岐阜森林管理署)

伐採作業をされるみなさまへ

～電気事故防止のお願い!!～

◆送電線は、直接電線に触れなくても感電します。送電線の近くで伐採または集運材索道架設作業等をされる場合は、事前に最寄りの事業所までご連絡ください。

◆万が一、送電線の上に倒してしまった場合は、電線に接触している木や、切れた電線には絶対に触らないで、その場から離れて、最寄りの事業所までご連絡ください。

◆事故が発生しますと、尊い人命が奪われます。また、停電により多くのお客さまにご迷惑をかけることとなり、起因者に対する補償問題にも発展します。

岐阜県内の送電線を保守する電力会社

●中部電力パワーグリッド株式会社　●北陸電力送配電株式会社
●関西電力送配電株式会社　●電源開発送変電ネットワーク株式会社

※付近に送電線があることを下記に連絡していただければ、管轄する電力会社にて対応させていただきます。

中部電力パワーグリッドの連絡先

事業所名	主な管轄区域	連絡先
岐阜電力センター送電課	岐阜市、羽島市、羽島郡、本巣市、瑞穂市、山県市、美濃市、関市 各務原市、大垣市、安八郡、揖斐郡、不破郡、養老郡、海津市	TEL(058)272−3222
加茂電力センター送電課	美濃加茂市、関市、美濃市、郡上市、加茂郡、可児市、多治見市 恵那市、土岐市、瑞浪市、中津川市、可児郡御嵩町	TEL(0574)28−1504
飛騨電力センター送電課	高山市、下呂市、飛騨市、大野郡白川村 富山県南砺市（一部）	TEL(0576)62−3953

※窓口は月～金曜日（祝日および年末年始除く）の8:30～17:10とさせていただいておりますので、連絡はお早めにお願いいたします。

森林・林業関係イベントカレンダー（10～12月）

林業者向け

開催日	行事名等	内　容　等	開催場所 問い合わせ先
10月7日㈬～ 10月8日㈭	**機械集材装置 運転業務特別教育**	●講習時間　7日　学科　8:50～16:10 8日　実技　8:30～17:40 ●申　込：開催日の10日前まで ●受講料：17,500円（本代含む）（振込み） ●定　員：30名（定員になり次第締め切ります。）	7日　学科　ぎふ森林文化センター（岐阜市六条江東2-5-6） 8日　実技　美濃市曽代地内（予定） 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192　FAX 058-201-1195
11月17日㈫～ 11月20日㈮	**フォークリフト 運転技能講習** 【受講資格】 自動車普通運転 免許所持者	●講習時間　1日目　学科　8:20～16:30 学科試験　16:30～17:30 2～4日目　実技・試験　8:00～17:30 ●申　込：開催日の20日前まで ●受講料：32,450円（本代含む）（振込み） ●定　員：20名（定員になり次第締め切ります。）	学科　伊自良中央公民館（山県市大門912-1） 実技　ぎふ農協　旧伊自良共選場（山県市洞田127-5） 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192　FAX 058-201-1195
12月3日㈭	**刈払機取扱作業者 安全衛生教育**	●講習時間　学科　9:20～15:40 実技　15:50～16:50 ●申　込：開催日の10日前まで ●受講料：11,550円（本代含む）（振込み） ●定　員：30名（定員になり次第締め切ります。）	ぎふ森林文化センター（岐阜市六条江東2-5-6） 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192　FAX 058-201-1195

コラム

COLUMN

長くお世話になった車が引退の時期になり車を探し始めました。電気制御のAT車が主流の中、探しているのはMT車…。愛車は三角窓の初代GOLF。PAの仕事で4ｔ超ロングを運転していた頃、元トヨタテストドライバーで11ｔツアー車のトランポ屋さんが運転の師匠でした。その師匠に教わった事は「必ず自分の目で確かめろ」そうしているうちに自然と大きさの感覚が身につきました。PAの仕事では現場を一目見ればどれだけのスピーカーを積んで必要な機材が何かが感覚でわかりました。CADが進化している中、建築現場で宮大工さんがものさしも使わず木材を削りだしピタッとハメ込んだのを見た時、最後は人の手、林業の現場の人や職人さんが積んできた経験と養ってきた感性をかっこいいと思いました。人の持つ目に見えない感覚ってすごいなと思います。安全装備がついて便利な車もいいなと思いますが、毎日オイルと冷却水の具合を見て、くせのあるクラッチを操作しながら自分の手足の様に進む車は特別愛着がありました。子供達も皆MT車、最新の技術を取り入れながらマニュアルを搭載して大事に乗りこなしています。身体が勝手に動くからマニュアルが面倒だと思わない私も、もう少しMT車を探してみようと思います。

「森林のたより」編集委員　奥田 亜紀子

イベント情報　11月1日発行
連載
●山の歳時記（183）
●山のおじゃまむし（352）
地域の人
清流と森と親しむ
●森林と人を活かす知恵（94）
木と親しむ
●岐阜県の公共木造建築（92）
清流の国ぎふ森林・環境税
森林文化の研究と実践
森林・林業技術
●研究・普及コーナー
市況情報　その他
11月号予定

木材市況　県森連　岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位：円（1㎥当たり）

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考
第1737回 岐阜共販所 9月1日	すぎ	3 m	16～18cm	11,200	—	単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格
		4 m	16～18cm	9,500	—	
			20～22cm	12,000	—	
			24～28cm	10,800	—	
			30cm以上	9,700	13,000	
		6 m	16～18cm	—	—	
	ひのき	3 m	16～18cm	15,100	—	
			20cm以上	12,300	—	
		4 m	16～22cm	15,500	—	
			24～28cm	12,500	—	
			30cm以上	11,500	—	
		6 m	16～18cm	—	—	
第1314回 飛騨共販所 8月26日	すぎ	3 m	16～22cm	10,000	—	
		4 m	24～28cm	9,000	—	
			30cm以上	9,000	13,300	
	ひのき	3 m	16～18cm	14,500	16,800	
		4 m	20～22cm	14,000	—	
			24～28cm	13,000	—	
			30cm以上	15,000	29,000	
		6 m	16～20cm	20,000	—	
	まつ	4 m	24～28cm	8,000	—	
			30cm以上	9,000	—	
	ひめこ	4 m	24～28cm	12,000	—	
			30cm以上	12,000	15,000	
		5 m	30cm以上	—	—	
	くり	2.1 m	24cm以上	15,000	28,000	
第1646回 東濃共販所 9月3日	すぎ	3 m	16～22cm	11,000	—	
		4 m	24～28cm	10,800	15,000	
			30cm以上元	12,000	18,000	
	ひのき	3 m	16～22cm	15,500	21,000	
			24～28cm	12,500	24,000	
			30cm以上元	13,800	24,000	
		4 m	13cm以下	9,000	—	
			24～28cm	12,800	26,000	
			30cm以上元	14,500	38,000	
		6 m	18～22cm	20,000	—	
	まつ	4 m	22～28cm梁	5,000	—	
			30cm以上元	6,000	—	

木材市場

【商況】

虫害や水上げによる干割れが危惧され、応札は全体的に低調。9月以降伐採の新木について期待感大。スギ4m元木についても価格は伸び悩み。スギ3m·4m並材は状況が徐々に緩和し強保合。ヒノキ3m·4m並材はともに応札低調。価格は上向き気配があり強保合。合板向けスギ·ヒノキは、荷動きにやや兆しあり。各大型工場より原木受入制限情報があり。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材は、各工場受入はほぼ順調。（岐阜）

スギ3m·4m並材ともに在庫過多を背景に弱気。ヒノキ並材は3m·4mとも引き合いあり活発な応札。ヒメコは応札はあるが価格は伸び悩む。広葉樹は出材は少ないが応札は活発。虫害や干割れ材については応札低調。合板向けスギ·ヒノキは荷動きにやや兆しがあるようだ。（飛騨）

全般的にヒノキ·スギとも並材（16～22cm）ほぼ横ばいで推移。ヒノキ元木、良材2m·3m·4m（高齢材及び枝打材など（特殊材））には旺盛、横ばいで推移。ヒノキ並材は3m·4m（16～22㎝）は、システム販売の安定供給に伴い横ばいで推移。スギ並材は3m·4m（16～28cm）長良川木協、森の合板工場へシステム販売にて供給。スギ·ヒノキ6m需要減。（東濃）

製品卸売標準価格（8月期）

（単位：円）

樹種	用途	寸法（mm） 長	巾	高	等級	m³当り価格	（本（枚）単価）	前月比較
スギ	柱	3000	105	105	1等	55,000	（ 1,819）	→
	間柱	3000	105	30	1等	55,000	（ 520）	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	（ 2,867）	→
	柱	3000	120	120	特等	60,000	（ 2,592）	→
		3000	120	120	（東濃桧）特等	65,000	（ 2,808）	→
		6000	120	120	特等	120,000	（10,368）	→
W集成ウッド材	柱	3000	105	105	国産5層	59,000	（ 1,920）	↘
		3000	120	120	国産5層	59,000	（ 2,520）	↘

※日刊木材新聞調べ（名古屋標準相場　全てKD材）

外材市況（8月期）

1㎥当り（価格単価：100円）

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	306	米栂	ヘム（アラスカ産）	292
	コースト（目荒）	317	米ひば	ポール	310

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場（径級は30㎝上、米松コーストのみ大阪相場）

ラーメン構法

木材用語一口メモ

柱、梁の接合部を剛接合（外力が加わり部材が変形しても接合部が変形しない接合方法）で一体化したもの。ラーメンはドイツ語で枠を意味します。斜材を必要としないため、大空間が設けられるメリットがあります。木造でも接合金物による半剛接による構法が開発され、普及が進んでいます。

（参考）日刊木材新聞社　木材·建築用語辞典